



校長室だより

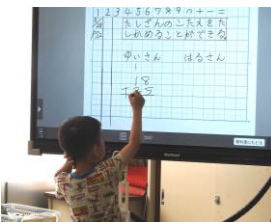
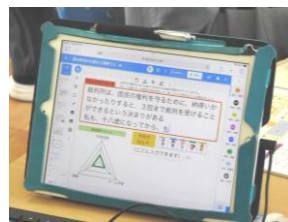
令和8年度

6月5日

NO. 9

これから先も、正しく情報を使えるように！

「生成AIが答えを出すプロセスは人間とまったく異なるため、それにいくらか接しても、大局観や生きた知識、直感の習得にはつながらない。」
『何回説明しても伝わらない』はなぜお母のか？
(日経BPO) 今井むつみ著



2年生の算数、5年生の国語、6年生の社会の授業を見てもうりました。みんな真剣に頑張りました。

小学校の先生たちは年間を通して研修を行っています。校内でも、各教科領域の専門の指導員をお迎えし、その勉強を行います。五月の二十八日には学習情報指導員の上地小 鈴木先生を招いて、授業を見てもうりました。GIGAスクール
の推進、情報機器やAIの発達など、社会の大きな変化の中で「学習情報」の果たす役割は大きなウェイトを占めます。
少し前に話題になったプロ野球チームの監督の辞任もAIが関係していました。試しに自分でも「親から暴力を振るわれたらどうする…」とAIに相談してみると、確かに児童相談所を勧められました。けれど本当に悩んで相談すると、自分のように試しに使用するのでは事情が全く違うのに関わらず、出てくるアドバイスは一緒です。本来であれば、個々に合わせた適切なアドバイスが必要なはずなのですが……。

学習情報の目的の一つは、情報処理能力の育成があります。ある本で、「AIは嘘をつく」という人もいますが、TVでもよくAIについて特集が組まれることもあります。ある番組では「AIを使って情報を得ることはいいが、判断するのは自分だ」ということを言っていました。学校教育でも、どう情報を得て、判断し、どう使っていくのかは喫緊の課題と言えます。

指導員の先生もお話の中でも、情報機器を使うことが目的ではなく、子供の思考にとっていかによく使うかが大事だと言われました。アナログの方がよい場合はアナログでも……。秦梨つ子も、授業の中にこうした機器が日常的にあり、上手にタブレットも使いこなします。スマホ等、問題があるからやらないのではなく、モラル教育と併せて、いかに正しく情報を扱う能力を育成していくかが、課題であり重要であると考えます。

- ・本年度は保護者にも案内をさせていただいて、5月27日に全校田植えを行いました。本年度より始まった「コミュニティ・スクール」もあり、「ふるさと学習」については、より皆様に知ってもらって支援いただけるように、多くの方が参加できるように考えております。また6月11日には里山レスキューを計画しています。一緒に里山整備活動を行っていただける方はぜひご参加ください。